

川の大切さを学ぶ日南川祭り
 (日南広渡川漁協、日南中央ロータリークラブなど共催)は15日午前10時〜午後4時、日南市のJAはまゆう研修会館と、近くの酒谷川河川敷である。身近にある川に親しんでもらう初の試みで、子どもも楽しめる。

研修会館では川にすむスッポン、ナマス、コイなどを展示する水族館のほか、川エビ籠など漁具展、酒谷、広渡川の源流から河口までの写真展、両川流域の小學生による川の環境美化啓発作品展、ドジョウやヤマタロウガニの

日南・串間

川に親しむ多彩催し

ウナギつかみ捕りや釣り

つかみ捕りなど。先着100人にカニミキ汁を振る舞うほか、同料理、天然アユの塩焼きを販売する。フリーマーケットもある。

同河川敷では午後から、ウナギのつかみ捕り(ゴマウナギは持ち

日南で15日

帰っていいがニホンウナギは放流)、釣り大会、ごみ拾いも行う。

時間帯など問い合わせは同祭り事務局 ☎0987(23)419

27. 11. 18

「メダカ捕まえた」

日南川に親しむ体験や展示

「日南川祭り」(日南広渡川漁協、日南中央ロータリークラブなど共催)は15日、日南市のJAはまゆう研修会館



メダカを手ですくい上げ喜ぶ子どもたち

と酒谷川河川敷であった。川に親しむ遊びの体験やさまざまな展示があり、親子連れらが楽しんだ。市内を流れる広渡、酒谷川の恵みや環境、生態系を学び親しんでもらおうと初めて開いた。

研修会館の駐車場にはドジョウやスッポン、メダカにゴマウナギなど20種近い生き物を展示。訪れた子どもたちは手で触れたり顔を近づけて観察したりし、「捕まえた」「水が冷たい」と大興奮。カニミキ汁の振る舞いもあり、

大人たちは「味が良い」などと味わっていた。屋内ではうなぎのかほ焼きやタクマエビ(手長エビ)のフライなど試食、絵の作品展もあった。

近くの河川敷では、午後からウナギのつかみ捕りなどもありにぎわった。

娘や孫と訪れた同市中央通の主婦松下久美子さん(52)は「お金を使うものではなく、普段と違う自然の遊びを孫に体験させたくて連れてきた。楽しそうで良かった」と目を細めていた。(矢野大輝)